

人工膝関節置換術(TKA)を受けられる

(連携クリニカルパス 17 日)

様へ

患者用クリニカルパス P1 / 3

説明医師

説明看護師(外来)

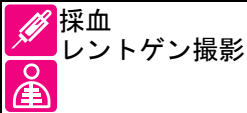



















看護師(病棟)

月日	月 日	月 日	月 日
経過	治療前日 (入院日)	当日術前	当日術後
目標	○心身ともに安定した状態で手術を受けられる		○術後合併症を起こさない ○手術後の苦痛が最小限である ○血栓予防に努めることができる ○リハビリが開始できる ○介助で車イスに移乗できる
検査	身長、体重測定		採血
食事	・夕食後絶食、21 時以後絶飲食 ・経口補水液は、麻酔科の指示で服用	絶飲食	朝より食事再開
	朝食は 自宅		
処置・観察	リストバンドを装着します (退院日まで) 弾性ストッキングのサイズを測定し、お渡しします 	点滴の針を留置します 	手術後、以下の挿入物、装着物があります ・酸素マスク → 取り外します ・心電図モニター → 取り外します ・点滴の管 → 点滴終了後、抜去します ・背中のチューブ → 抜去します (鎮痛剤) ・創部の管(ドレーン) → 抜去します ・クーリング → 取り外します ・尿道カテーテル → 抜去します ・フットポンプ → 取り外します (血栓予防) ・リハビリ後、創部クーリングを行います
点滴・内服			 ・消炎鎮痛剤 → ・胃薬 → ・血栓予防薬 →
行動・リハビリ	 	 ・手術着に着替え ・弾性ストッキング装着 ・入れ歯、アクセサリー、時計等の取り外し	
説明	 ・治療計画について ・手術について ・麻酔について ・入院生活について (パスシートを使用) ・手術について ・持参薬確認 ・使用薬剤について	 ご家族へ ・手術結果について ・術後の注意点について ・安静について ・下肢運動について ・痛み止めの使用方法について	 ご本人へ ・手術結果について ・十分な水分摂取について

*** 入院に際してこの用紙を必ずお持ちください。**

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。また、定期的に栄養状態の再評価を行い、計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。

月日	月 日～ 月 日	月 日～ 月 日	月 日～ 月 日	～ 月 日						
経過	術後 2～3 日目	術後 4～5 日目	術後 6～7 日目	～術後 14 日目前後転院						
目標	○術後合併症を起こさない ○手術後の苦痛が最小限である ○血栓予防に努めることができる ○車イスで移動ができる → 歩行器で歩行できる（見守り→自立） → 1本杖歩行ができる（病棟→院内）			○疼痛がコントロールできる ○身の回りのことが自分でできる ○階段昇降ができる ○日常生活の注意点が理解でき、実施できる						
検査			 採血 レントゲン撮影							
食事										転院日は朝食のみ 
処置・観察	 創部を観察、処置を行います → リハビリ後、創部をクーリングします →			転院時にリストバンドを外します						
	 状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります									
点滴・内服	 以下を内服します ・消炎鎮痛剤 → ・胃薬 → ・血栓予防薬 →									
行動・リハビリ	 創部の治癒状況に合わせてシャワー浴を再開します （週3回、病棟毎で日が異なります） 弾性ストッキングを装着します →			 朝食後転院です						
	 療法士付き添いのもと、リハビリを継続します （安静度やリハビリの進行には個人差があります） →									
説明				 医師より説明 ・転院について  看護師より説明 ・転院について  療法士より説明 ・転院について						

